

令和4年度 運動技能に関する調査結果

小学校

児童の「鉄棒運動(逆上がり)の技能」に関する調査結果

1 調査のねらい

本県児童の逆上がりの技能の実態を把握し、その結果を体育指導に役立てるとともに、体育行政上の資料とする。

2 調査期間

鉄棒運動 令和4年9月26日～10月28日

3 調査対象

各教育事務所管内、全小学校の20%の抽出校の第4学年～第6学年の全児童（疾病児童は除く）

※一部未実施の自治体あり

4 調査内容

低鉄棒での「逆上がり」

5 集計結果の概要

評価の基準

- ① できない
 - ② 補助板を使用すればできる
 - ③ 1回はできる
 - ④ 連続してできる（2回以上）
- ※③と④を合わせて成就率とする

<図1, 表3から>

- ・表3より、臨時休業等の影響で、体育の授業が十分に実施できなかった令和2年度調査と比較すると、男子5年と女子5年、6年で成就率を高めることができた。感染症防止対策を講じながら、授業の充実及び休み時間等で鉄棒に触れる機会が増えてきたことが推察される。
- ・図1より、6年男子以外は成就率の下げ止まりが見られる。しかし、運動能力が高かった昭和59年、体力の低下が叫ばれはじめた平成6年と比較しても依然低い状況にある。

授業を通して技能を身に付ける教科としての意義を踏まえ、小学校では逆上がりだけでなく、鉄棒運動系の基本的な技能を継続して保障していきたい。そのためには、小学校低学年の段階から、運動遊びを通して、鉄棒好きで運動好きな児童を育てたい。

表1 鉄棒運動(逆上がり)技能の調査結果(%)

表2 鉄棒運動(逆上がり)技能の成就率(%)

【男子】

図1 児童の逆上がりの成就率の経年変化

【女子】

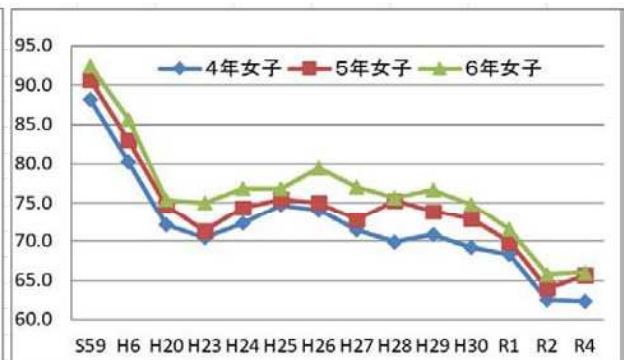
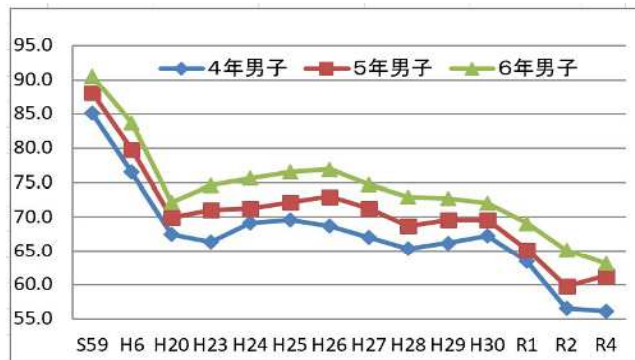


表3 令和4年度埼玉県児童の鉄棒運動の技能(逆上がり)に関する調査の結果(教育事務所別)

評価	第4学年(男子)				第5学年(男子)				第6学年(男子)			
	1 できない	2 補助板で できる	3 1回はで きる	4 連続でで きる	1 できない	2 補助板で できる	3 1回はで きる	4 連続でで きる	1 できない	2 補助板で できる	3 1回はで きる	4 連続でで きる
南部 教育事務所	444 25.0%	385 21.7%	386 21.7%	562 31.6%	316 17.9%	396 22.4%	422 23.8%	632 35.8%	374 21.3%	369 21.0%	437 24.9%	573 32.7%
西部 教育事務所	208 16.7%	326 26.1%	281 22.5%	432 34.6%	188 15.4%	294 24.1%	271 22.2%	469 38.4%	197 16.3%	201 16.7%	258 21.4%	551 45.7%
北部 教育事務所	99 18.6%	101 18.9%	143 26.8%	190 35.6%	86 17.7%	97 19.9%	109 22.4%	195 40.0%	60 11.3%	101 19.1%	106 20.0%	263 49.6%
東部 教育事務所	219 21.2%	234 22.7%	176 17.0%	404 39.1%	176 16.7%	203 19.2%	171 16.2%	507 48.0%	212 18.9%	183 16.3%	142 12.7%	583 52.1%
全 県	970 21.1%	1,046 22.8%	986 21.5%	1,588 34.6%	766 16.9%	990 21.8%	973 21.5%	1,803 39.8%	843 18.3%	854 18.5%	943 20.5%	1,970 42.7%
全県成就別割合	43.9%(43.3)		↓56.1%(56.6)		38.7%(40.2)		↑61.3%(59.8)		36.8%(34.9)		↓63.2%(65.1)	
全県学年合計人数	4,590				4,532				4,610			
全県成就別人数	2,016		2,574		1,756		2,776		1,697		2,913	
全県成就別割合	43.9%		56.1%		38.7%		61.3%		36.8%		63.2%	

()内は、R2の割合。逆上がりが1回以上できる割合が増加は↑、減少は↓

評価	第4学年(女子)				第5学年(女子)				第6学年(女子)			
	1 できない	2 補助板で できる	3 1回はで きる	4 連続でで きる	1 できない	2 補助板で できる	3 1回はで きる	4 連続でで きる	1 できない	2 補助板で できる	3 1回はで きる	4 連続でで きる
南部 教育事務所	293 17.5%	380 22.8%	391 23.4%	606 36.3%	255 14.9%	384 22.5%	388 22.7%	683 39.9%	303 17.3%	359 20.5%	423 24.2%	662 37.9%
西部 教育事務所	128 11.1%	287 24.8%	281 24.3%	460 39.8%	142 12.6%	243 21.5%	220 19.5%	526 46.5%	108 9.4%	216 18.9%	271 23.7%	549 48.0%
北部 教育事務所	77 15.3%	94 18.7%	131 26.0%	202 40.1%	58 11.1%	106 20.3%	111 21.3%	247 47.3%	53 10.0%	113 21.4%	102 19.3%	260 49.2%
東部 教育事務所	151 14.9%	231 22.8%	165 16.3%	468 46.1%	125 12.3%	192 18.8%	162 15.9%	541 53.0%	168 15.7%	205 19.2%	139 13.0%	556 52.1%
全 県	649 14.9%	992 22.8%	968 22.3%	1,736 40.0%	580 13.2%	925 21.1%	881 20.1%	1,997 45.6%	632 14.1%	893 19.9%	935 20.8%	2,027 45.2%
全県成就別割合	37.8%(37.5)		↓62.3%(62.5)		34.3%(36.0)		↑65.7%(64.0)		34.0%(34.2)		↑66.0%(65.8)	
全県学年合計人数	4,345				4,383				4,487			
全県成就別人数	1,641		2,704		1,505		2,878		1,525		2,962	
全県成就別割合	37.8%		62.2%		34.3%		65.7%		34.0%		66.0%	

()内は、R2の割合。逆上がりが1回以上できる割合が増加は↑、減少は↓